

## 三木地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和2年10月30日(金)  
午後7時00分～8時35分
- 2 場 所 中央公民館大ホール
- 3 参加者 三木地区 20人  
市 19人(市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、教育総務部長、教育振興部長、企画政策課長、危機管理課長、健康増進課長、商工振興課長、観光振興課長、道路河川課長、プロジェクト推進課長、交通政策課長)  
オブザーバー 7人

### 4 内 容

(1) 地区からの意見・提言及び市からの回答  
別紙のとおり

(2) 意見交換

ア 神戸電鉄新三木駅周辺の開発計画について

#### 【三木地区】

2年前に焼失した三木駅の新駅舎デザインについて、デザイン投票のアンケートで寄せられた意見を見ると、三木駅に対して非常に愛着のある意見ばかりであった。新駅舎のデザインは決定したが、新駅舎をどのように活用していくのかが重要であると考えます。美嚙川リバーサイドパーク、城下町、ナメラ商店街や三木城跡等への玄関口として機能するよう計画してほしい。また、駅舎内に観光協会を誘致されるのであれば、そこで地域ボランティアを活用することで、高齢者の生きがいづくりにもつなげてほしい。更に、作品の展示コーナーを設けることで、文化の振興につながるような駅舎としたいと考える。地域としても協力を惜しまないため、チーム三木一丸となって素晴らしい駅舎を創り上げたい。

#### 【都市整備部長】

新駅舎における地域ボランティアについては、ぜひ協力していただきたい。また、三木駅の周辺整備については、三木

駅前の県道において福有橋の手前が非常に狭いため、道路の拡幅を加東土木事務所に依頼している。今年度から設計を進めているところである。

**【三木地区】**

三木駅前のバス停付近について、歩道及び横断歩道がないため、大変危険である。バス停の位置の変更等により対策できないか。また、車で三木駅の北側から踏切を渡った後の交差点において、右折ができないため不便である。

**【都市整備部長】**

三木駅周辺の県道の整備については、両側歩道の設置が計画されている。また、御指摘の三木駅北側からの右折については、安全面から、警察により不可とされている。御不便をお掛けするが、警察としては交通事故が発生しないよう安全第一で考えているため、御理解いただきたい。

**イ 大型車両の市街地進入を軽減することについて**

**【三木地区】**

旧市街地内の大型車の通行について、昼間ではなく、夜22時から朝6時までの夜間の通行を規制できないか。夜間の状況については地域住民しか把握していない。信号周期の見直しは現段階では考えていないとの警察からの回答だが、状況を把握している地域住民からの意見として、重ねて警察に要望してほしい。

**【都市整備部長】**

県道加古川三田線を通行する車両が増えたことについては市としても認識している。夜間に大型車が抜け道として通行している実情を警察に伝えた上で、対策を引き続き要望していく。

**【市長】**

三木スマートインターチェンジ及び東播磨南北道路の未開通部分が、令和6年度末に完成予定である。また、かじや橋を含む県道の未開通部分についても、来年度中の完成を予定している。これらの道路整備により交通状況が変化すると思われるため、状況を注視したい。

## ウ 新型コロナウイルスへの対応について

### 【三木地区】

コロナ禍における金銭的な支援策や発熱した際の連絡先等はホームページに掲載してあるが、実際に感染した場合どこに入院するのか等の具体的なことが分からない。県において医療体制を整えている旨をPRすれば、住民も安心するのではないか。

### 【健康福祉部長】

医療機関への入院措置については、法律に基づき、県が施設の受入状況を確認しながら決定するため、市独自で医療機関を指定することができない。急を要する場合は、救急車で医療機関へ搬送するような形となる。また、新型コロナウイルスは自覚症状が少ないとされているため、新型コロナウイルス以外の要因による入院の際にもPCR検査を行うこととなっている。北播磨地域においては40の医療機関が感染の疑いのある患者の受診の受け入れを行っており、市としても加東健康福祉事務所及び三木市内の医療機関と連携を図っているところであるため、御安心いただきたい。

### 【三木地区】

先日初めてオンライン会議サービスを利用し、利便性を実感した。いまはペーパーレスや押印の廃止等の取組が進む変革期であると考えているが、今後オンライン化が進むに当たり、電子機器が苦手な住民にも分かりやすく説明するなど対応してほしい。

### 【総合政策部長】

全国的なオンライン化の推進に当たり、現在は自治体ごとに用いるシステムが異なるため、まずは5年後の完了を目標にシステムの統一を進めている。インターネットを通じた申請等の推進により、利便性の向上を図っていく。また、電子機器が苦手な方は大勢いらっしゃるため、可能な限り分かりやすく説明するほか、御不明な点等の問合せに対応できる体制をとりたいと考えている。

## エ 道徳の教育が欠けていることについて

### 【三木地区】

新聞に、音楽の授業は不要ではないかという小学生からの投稿が掲載されていた。これに対し論説委員は、実学志向が幅を利かせている、現代の子どもは短期的な成果を求める社会からのプレッシャーに晒されていると評していた。情操教育がないがしろにされているのではないかと感じている。教育方針を変更したとしても一朝一夕に解決する問題ではないが、引き続き子どもたちの豊かな心の育成に努めてほしい。

**【教育振興部長】**

新聞に投稿された小学生がどのような背景からそのような思いに至ったかは分かりかねるが、成績へのプレッシャー等も一因であった可能性も考えられる。音楽の授業については、情操教育の観点から学校教育において大切な科目である。また、自尊感情や自他共に大切にすることを育むことが、将来的に子どもたちの生きる力につながると考えるため、引き続き人権教育及び道徳教育を推進していく。

**【三木地区】**

道徳教育については、息の長い取組が必要であるほか、家庭、学校及び地域が連携して取り組むべき課題である。教育にはお金を惜しまないという市長の力強い発言があったが、三樹小学校のプールにおいて、さびが目立っている状況を見ると、学校にお金が使われているか不安になる。割れ窓理論という、1枚の割れた窓ガラスを放置すると、他の窓ガラスも割られ、最終的に建物全体が荒廃するという理論があるため、学校の施設整備は重要であると考えます。また、核家族化により子どもが高齢者と触れ合う機会が減っているため、世代間交流を促進する取組が必要ではないか。

**【教育振興部長】**

学校はオープンスクール等において、地域の方々にも教育活動を御覧いただくことで学校教育に対する理解を深めていただいているところである。また、地域におかれては、人の目の垣根隊の方々を中心に子どもたちの見守りに御協力いただいている。地域の方に見守られることで、子どもたちの安心感や大切にされているという意識の芽生えにつながる。見守られた子どもが、中高生になっても人の目の垣根隊の方に挨拶や声かけを行う事例も聞いている。今後も、家庭、

学校及び地域の連携を重視していく。

オ 外国人労働者、研修生の処遇について

【三木地区】

昨年の8月頃は1,655人だった市内在住の外国人住民が、現在は約1,800人に増えている。国勢調査員をしているが、日本語が不自由な外国人にとって、国勢調査は理解も記入も困難であるため、勤めている企業において取りまとめるべきであると考えている。また、国際交流協会において日本語教室があるが、単語だけでなく、実際に日常会話で使える日本語を教えてほしい。三木市では人口減少が進んでおり、雇用につながる産業がないのが要因であると考えている。小野市は企業を誘致するなど、評判が良いが、三木市は他市の長所を参考にした取組をしないのか。

【市民生活部長】

市内在住の外国人が増加している現状を受け、外国人にも分かりやすい、「やさしい日本語」の活用を市として推進しているところである。国際交流協会では日本語教室を開設しているが、本人のやる気がなければ続かないという課題もある。御指摘のとおり、国勢調査等の手続きは外国人住民にとっては難しい。今年5月に開設した市の外国人相談窓口において、AI翻訳機の利用も可能であるため、個別に御相談いただきたい。

【市長】

どの自治体にも異なる長所がある。住民にとっては、自分の住む市の長所は当然のものと認識し、他市の長所のみがよく映ることと思う。そこで、昨年から広報みきの「みきのええトコ」というコーナーにおいて、三木市の長所について掲載している。例えば、上水道料金は北播磨地域の他市と比較し1,000円以上安いほか、子育て施策においても0歳から2歳までの保育料を半額としているなど、他市よりも手厚い施策を実施している。また、雇用の確保についても、ひょうご情報公園都市の整備に向けて、県とともに事業を進めている。

【三木地区】

観光資源として、三木市には大きな博物館や美術館がない。大きな城もなく、三木城跡についても市外からの観光客がリピーターにならない。

**【市長】**

三木市と同じぐらいの人口の自治体で市立の美術館がある自治体は珍しい。他市の長所を研究し参考にする一方で、三木市の長所についても積極的にPRしていく。

カ 奨学金について

**【三木地区】**

手厚い奨学金制度があることを知り安心したが、奨学金を申し込んだ方の大半は受給できているのか。

**【教育総務部長】**

奨学金については、経済的に支援が必要と認められる世帯を対象としている。所得等の要件があり、これを満たせば受給対象となる。

キ その他

**【三木地区】**

新型コロナウイルス感染症対策として、地区内に回覧を回す際、手洗いやうがいの励行についての案内を添付している。発熱症状等がある場合についての情報も重要だが、第一に風邪をひかないための身近な感染症対策について、ポスター等で分かりやすく周知することが重要である。目に入る度に個人が再認識できるよう、毎月のようにチラシを回覧するなどお願いしたい。

**【健康増進課長】**

11月に全戸回覧を予定している新型コロナウイルスに関するチラシについて、本来は外来・検査体制に関する情報のみであったが、感染症対策を徹底していただきたいという思いから、裏面に手洗いと咳エチケットの情報を掲載した。当チラシを作成する際、三木市医師会と相談し、まずはマスクを着用し、人にうつさないこと、また、体調不良の際はすぐにかかりつけ医に相談することを伝えるために作成した。市としても感染予防について今後さらにPRを進めていき

たい。

**【三木地区】**

全戸回覧が予定されているチラシについて、字が小さく読みづらい部分がある。高齢者が多いため、字を大きくするなど、分かりやすくしてほしい。

**【健康増進課長】**

高齢者でも読みやすいように工夫させていただく。